

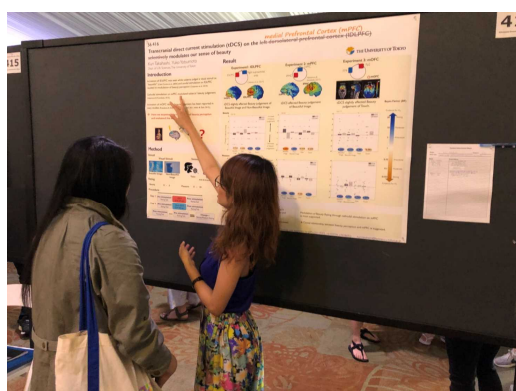
## Vision Science Society 18<sup>th</sup> Annual Meeting 参加報告

総合文化研究科広域科学専攻生命環境科学系四本研究室 修士二年 高橋久理

「博士・修士過程学生のための国際研究集会渡航助成」の支援を受け、2018年5月18日から23日にかけてアメリカ合衆国フロリダ州タンパで開催されたVision Science Society 18<sup>th</sup> Annual Meetingに参加した。当学会は毎年5月に行われ、視覚科学を専門とする研究者たちを中心に口頭発表、ポスター発表が行われる。またそれ以外にも、夕方から食事会や実験のデモンストレーション、ダンスパーティーなどが企画されており、他の研究者と交流する機会も用意されている。

今大会で私はObject Recognitionというセクションにおいて「Transcranial direct current stimulation (tDCS) on the medial prefrontal cortex (mPFC) modulates our sense of beauty」という題目でポスター発表を行った。本研究では、人がモノを美しいと感じた時に賦活がみられた脳部位を経頭蓋直流刺激(tDCS)で刺激することによって、人の美しさの感覚は変化するのか検討をした。

発表時には、このような人の高次認知以外の分野に携わる研究者からもコメント、質問を受け、分野をまたぎ活発なコミュニケーションを取ることができた。また、本研究と近似した実験を行なっている研究者と議論をする機会にも恵まれ、次の実験へのアイデアも得ることができた。今回の学会で得られた多くの貴重な経験を活かし、これからもより一層研究に邁進していく所存である。



学会会場（左）と、ポスター発表の様子（右）